

日本伝熱学会関西支部
第20期 定時総会・特別講演会
第21期 第1回講演討論会

開催日時：2014年（平成26年）5月2日（金） 13:00～19:40

開催場所：大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス 学術交流会館

〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1番1号

<https://www.osakafu-u.ac.jp/access/>

プログラム

- 関西支部第20期定時総会 [13:00～13:30]
- 特別講演会 [13:40～15:40]
 1. 牧野 俊郎 氏（近畿職業能力開発大学校，元支部長，京都大学）

題目：表面の熱ふく射の研究

概要：私は22歳のときに表面の熱ふく射物性の研究を始めた。以来昨年まで42年間その分野にいた。個々の研究は伝熱学・分光学・電磁気学・生活科学などの研究でもあったが、それらは熱ふく射の領域から出るものではなかった。その間、伝熱関西の先輩・後輩・学生諸兄から多くを教わってきた。この講演では、なるべく基調講演にならないようにお話ししたい。
 2. 井上 健司 氏（川崎重工業）

題目：製品開発における熱的課題と最近のアプローチ

概要：近年，エネルギー機器の開発，例えばガスタービンやガスエンジン等の発電主機の開発においては，国際競争の中，開発コストや製品コストを抑えながら，さらなる効率向上に加え NO_x などの有害ガスの排出低減を達成する必要がある。ここでは，そのために解決すべき熱的課題と最近のアプローチについて紹介する。
- 第1回講演討論会 [16:00～17:20]
 1. 吉田 憲司 氏（大阪大学）

題目：予混合圧縮自己着火燃焼の燃焼特性ならびに自己着火条件について

概要：次世代ディーゼルエンジン燃焼方式として注目されている予混合圧縮自己着火燃焼について，自己着火・燃焼特性に及ぼす燃料濃度場の分布の影響，ならびに自己着火の条件について，これまでの研究内容をお話しする。
 2. 飯塚 晃一郎 氏（神戸製鋼所）

題目：高効率蒸気供給システム SGH の開発とその実証事例

概要：工場などで蒸気を利用する殺菌・濃縮・乾燥・蒸留工程においては，従来，120℃を超える高温蒸気はボイラでしか供給できなかった。地球温暖化問題を背景とした省エネルギー化ニーズの高まりにより，ヒートポンプによる蒸気供給システムを開発した。その開発事例と導入事例を紹介する。
- 懇親会 [17:40～19:40]